

計画（素案）からの主な修正箇所

頁	修正箇所	修正前	修正後	修正理由
計画全般	年度の表記について	平成32年度	平成32年度（2020年度）	事務局
目次	第1期障害児福祉計画の説明		※第5期障害福祉計画と第1期障害児福祉計画を一体の計画として策定します。なお、第1期障害児福祉計画に該当する箇所は、第1章、第2章の5及び第5章になります。	策定・評価委員会
5	年度の表記について	平成30年度から平成32年度	平成30年度（2018年度）から平成32年度（2020年度）	事務局
8	進捗管理について（障害者計画・障害福祉計画策定・評価委員会と障がい者の暮らしを支える協議会の統合のため）	また、本計画における目標等の進捗状況については、年1回、大垣市障害者計画・障害福祉計画策定・評価委員会に報告し、「計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）」のPDCAサイクルに沿って適切な進捗管理と評価を行い、必要に応じて計画の見直しや施策に反映します。	また、本計画における目標等の進捗状況については、「計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）」のPDCAサイクルに沿って年1回、適切な進捗管理と評価を行い、必要に応じて計画の見直しや施策に反映します。	事務局
9	スマイルブックの説明		※スマイルブックとは、園や学校生活などにおいて困り感のある児童を支援するために作成するものです。生育歴やこれまで受けてきた支援等を記録することで、継続・一貫した支援に繋がります。	事務局
46	訪問系サービスの見込量確保の方策	重度障害者等包括支援サービスのニーズの把握に努め、事業所に対する情報提供や働きかけなどを検討します。	障がい者の暮らしを支える協議会において、地域の利用ニーズや不足するサービス内容を把握し、事業所等への情報提供に努めます。	事務局

頁	修正箇所	修正前	修正後	修正理由
53	相談支援の見込量確保の方策	<u>障がいのある人が地域において適切な医療やリハビリテーション、福祉サービスを受けることができるよう、関係機関と連携し支援します。</u>	<u>地域で安心して住み続けることができるよう、保健、医療、福祉の連携による体制づくりに努めます。</u>	事務局
65	障害児通所支援の見込量確保の方策	障がい者の暮らしを支える協議会を通じて、障害児通所支援事業所の質の向上を図ります。	障がい者の暮らしを支える協議会での研修や事例検討を通じて、障害児通所支援事業所の質の向上を図ります。	事務局
66	障害児相談支援の見込量確保の方策	障がい者の暮らしを支える協議会を通じて、障害児相談支援事業所の質の向上を図ります。	障がい者の暮らしを支える協議会での研修や事例検討を通じて、障害児相談支援事業所の質の向上を図ります。	事務局